

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

◆山崎 晴生 議員……………P 9

- (1) 特別支援学級の指導状況について問う
- (2) マイナ保険証について
- (3) 基幹相談支援センターの現状

◆福島 ヤヨヒ議員……………P 9

- (1) 住み続けられるまちづくりと公共施設計画は
- (2) 通学路等の雑草対策
- (3) 高齢者見守りを十分に
- (4) 給食費無償化 小学・園児対策

◆谷仲 和雄 議員……………P10

- (1) 民生委員のなり手不足について
- (2) 重層的支援体制の整備
- (3) 防犯対策について
- (4) P F I の取組方針

◆鬼田 岳哉 議員……………P10

- (1) 奨学金返還支援事業の検討経過は
- (2) 市の未利用財産活用を
- (3) SNSで地域PR!
- (4) タブレット修繕費抑制に向け
- (5) 敬老会事業を考える

◆石井 旭 議員……………P11

- (1) 定額タクシー導入提案後の検討状況は
- (2) 鳥獣被害対策
- (3) 違法残土と盛土対策
- その他：不法投棄等の対策を問う

◆長津 智之 議員……………P 5

- (1) 小学生への給食費無償化の実現について
- (2) 新たな国際交流
- その他：栗又四ヶ線への信号機の設置について

◆戸田 大我 議員……………P 6

- (1) 市民から徴収する森林環境税の有効活用を
- (2) PFAS対策について
- その他：物価高騰に伴う学校給食材料費等の確保管理について

◆真家 功 議員……………P 6

- (1) 地域特産品ブランド化の推進は如何に
- (2) 令和7年度予算編成について

◆香取 憲一 議員……………P 7

- (1) 税控除 103 万円の壁の小美玉市への影響は
- (2) ふるさと納税について
- (3) 公民連携の推進について

◆内田 和彦 議員……………P 7

- (1) 家庭から出る廃食油を航空燃料に
- (2) 音声コードの普及推進

◆村田 春樹 議員……………P 8

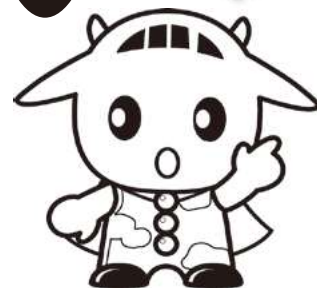
- (1) 避難所用段ボール製ベビーコットの導入を
- (2) 市内投票所の今後の進捗
- (3) おみたまっ子応援パッケージ
- その他：小美玉市DX推進について  
スクールバスについて

◆鈴木 俊一 議員……………P 8

- (1) デジタル教科書についての見解を問う
- (2) コロナ禍後の児童生徒は
- (3) コミュニティ事業について

# 市政を問う

12名の議員が質問



一般質問とは…市政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、市政をより良い方向へ導くものです。



## 小学生への給食費無償化の実現について

ながつ としゆき  
長津 智之



録画映像

### 答弁 来年度の実施に向け取り組む

**問** 給食費無償化については、中学生は継続しつつ、小学生の無償化に向けて行くと思うが、財源確保が厳しい状況において、どのような検討がなされているのか伺う。

**答** 教育部長 小学生の給食費無償化を実現するには、約8千2百万円の財源が必要となる。中学生の無償化の継続、小学生への拡大に向けて、ふるさと応援基金の活用等を視野に入れ、各所管との調整と検討を行っている。

**再** 給食費無償化については、市民団体からも千名を超える市民の署名と合わせて要望書が提出され、保護者ばかりでなく、市民の関心も大変高いと思われる。そこで、市長の政策的にも重要と思われるので、小学生への給食費無償化拡大の見通しについての考え方や決断をお聞きする。

**答** 市長 市民との対話を通し、給食費無償化に対する市民の思いを深く受けとめている。小学生への給食費無償化は来年度からの実施に向け取り組んでいく。

**問** 台湾新北市淡水区と友好交流覚書の締結を行ったが、今後、交流をどの様に展開していくか伺う。

**答** 副市長 淡水区とプロジェクトチームを設置し、交流計画を早期に策定していく。交流事業のスタートは来年度、学生同士の英語によるオンライン授業を予定している。新北市全体との将来の経済交流を見据え、貿易関連についても、意見交換を行っていく。

◎その他の質問  
栗又四ヶ線への信号機の設置について



▲玉里学園義務教育学校の給食風景



市民から徴収する森林環境税の有効利用を

とだ だいが  
戸田 大我



録画映像

答弁 市民のニーズ等計画的かつ適切に利用する

**問** 今年度より市民から徴収している森林環境税の使途状況について問う。

**答** 産業経済部長 今年度の交付予定額は約1千4百万円となっており、市内小中学校における机、椅子等の備品購入や体育館長寿命化工事(内装)で計1千2百万円の執行予定である。有害鳥獣対策としての森林整備は、本市の場合、森林が広範囲に点在をしているため効率的ではないという課題がある。今後国・県・周辺市町村の動向を踏まえ、計画的な活用を図っていく。



▲森林環境税について(林野庁HPより)



**PFAS**※  
対策について

**問** 市の水質管理において、PFASを巡る状況について問う。

**答** 都市建設部長 本市水道は地層深くの地下水を浄化処理しており、



▲PFASについて(環境省HPより)

質検査結果は国の暫定目標値の半分以下であり、健康等の影響に問題がないことをホームページで知らせている。

**要** 現在国が進めているとされる新しい目標値について、市として前もって対策を検討されたい。

◎その他の質問  
物価高騰に伴う学校給食材料費等の確保管理について

☐PFAS…人工的に作られた有機フッ素化合物の総称。人体への健康影響があるとされている



地域特産品ブランド化の推進は如何に

まいえ いさお  
真家 功



録画映像

答弁 消費者層を意識しマーケティングする

**問** 特産品のブランド化については、マーケティングとプロモーション戦略が重要であると思う。地域ブランドのマーケティングの鍵は、単に商品の品質を強調するだけでなく、その地域独特の文化や歴史、資産に基づく価値を添えることにある。商品の背景や意義を強調することで、消費者の心に響くストーリーをつくり上げるプロモーション戦略が不可欠であると思うが、それらのことを踏まえ、どのように進めていくのか伺う。

**答** 産業経済部長 ブランドのプロモーション戦略については、想定をする消費者層を意識しながら、マーケティングや品質だけでは無い部分のプロモーションが重要であると考えている。認定後は、単に認定品をアピールするだけではなく、生産者の思いや熱意が伝わるようなPR動画やパンフレット等を作成し、販路拡大に結び付くよう県内外に広く周知していく。

**要** 特産品のブランド化については、マーケティングとプロモーション戦略が最も重要である。ぜひもう少し力を入れて進めていただきたい。例えば農産物でまちおこしみたいな勢いで特産品のブランド化並びに地域活性化を目指していくことを要望する。

**要** 令和7年度の予算編成については、選択と集中の言葉だけに留めず、決断と実行へ。小美玉市新時代の第一歩が新年度予算であるので、政策的経費については、しっかりと検討されることを要請する。

**要** 令和7年度予算編成について

**答** 市長 今後、市の魅力あるまちづくりの施策を着実に積極的に取り組む、将来負担とのバランスに十分留意しながら市政運営に努めていく。



### 税控除103万円の壁の小美玉市への影響は

かとり けんいち  
香取 憲一



録画映像

### 答弁 税外収入の確保に全力を尽くしていく

#### 問

所得税控除いわゆる103万円の壁について、本市への想定される税収入の影響は。

#### 答

財務部長 あくまで想定される試算として、仮に控除上限額が178万円に引き上げられた場合、個人住民税の歳入当初予算額22億6千5百万円に対して、減収見込み額約8億9千万円、減収率約39%と試算した。住民サービスに影響が出ないよう歳入においては税外収入確保に全力を尽くし、歳出面においては、事業のスクラップ&ビルド※、選択と集中を加速させて財源不足解消に向けた取り組みを進めていく。

#### ふるさと納税について

#### 問

令和6年度のふるさと納税の現況、大躍進の要因はどのようなものか。

#### 答

副市長 今年度当初予算(歳入)5億7億5千万円に定め、プロジェクトチーム一丸となり、現状分析や市場動向を

見据えた戦略を立て、目標達成に向け取組んできた結果、大幅な寄附金増額に繋がった。また寄附による消費拡大に伴い、様々な市内地域経済への波及効果をもたらす事にも繋がった。



▲小美玉市の返礼品(一部) 寄附金は様々な施策の事業費に使用される

#### 公民連携の推進について

#### 問

持続可能な自治体運営を目指し、小美玉市もこれからの各種事業に民間の活力を取り入れていく「公民連携」を積極的に導入すべきではないか。

#### 答

総務部長 公民連携は今後も多くの分野で実効性のある取り組みが進むよう、民間活力の導入拡大と活用を努め、従来の行政になかった地域課題解決の新しい知見を蓄積して変革を推し進めていく。

☐ スクラップ&ビルド…非効率な行政機構などを廃止し、新たな機構に立て直すこと



### 家庭から出る廃食油を航空燃料に

うちだ かずひこ  
内田 和彦



録画映像

### 答弁 茨城空港に発着する航空機での利用を目指す

#### 要

天から油などの廃食油は近年、国際的に需要が高まる「持続可能な航空燃料(サステイナブル・アビエーション・フューエルII SAF)」の原料の一つとして注目され、回収・再生・利用の機運が高まっている。家庭から出る廃食油は、年間約10万トンあるが、ほとんど手つかずのまま固めたり、新聞紙にしみこませて捨てられている。SAFの利用は一番身近な資源の有効活用だと考える。この廃食油をSAFの原料として利用して頂きたい。



▶廃食油回収BOX(本庁)

#### 答

市長 廃食油については、再利用し、茨城空港を発着する航空機の次世代航空燃料としての利用実現を目指していく。

#### 音声コードの普及推進

#### 問

読むことが困難な高齢者や視覚障がい者、外国人のための情報取得ツールとして、音声コードの導入が必要だと考える。導入に向けての考え方や問題点を伺う。

#### 答

福祉部長 音声コード導入に向けては、音声コードに収められる情報が約800文字に制限されている点や、作成に当たっては専用ソフトウェアの導入が必要である点など様々な課題がある。こうした課題に対応するため、すでに音声コードを導入している自治体の取り組みや活用方法を参考にしつつ、利用者ニーズや費用、効果、実用性の検証を含めた調査・研究を進めてまいりたいと考えている。



避難所用段ボール製ベビーコットの導入を

むらた はるき  
村田 春樹



録画映像

答弁 早期に導入してまいりたい

状況を念頭に、小美玉市の現状に見合った投票所体制の

**答**

総務部長 現在38か所ある投票所を

目安として20〜25か所程度に集約する方向。旧町村間での偏りが生じないように、市民の公平性を確保することを念頭に、小美玉市の現

**問**

市内投票所のバランスについて、どのように考え、進めているのか。また、投票所の統廃合を進める上で、投票弱者への対応は。

市内投票所の今後の進捗

必要がある。ご提案の避難所用段ボール製ベビーコットについても、積極的に導入していく。

**答**

総務部長 全国的に避難所における

生活環境の確保が重要視されている中、乳児を避難所に連れていく心理的負担から、避難の必要があるのに避難しなかったということがないよう考慮していく必要がある。ご提案の避難所用段ボール製ベビーコット※を導入していただきたいと提案する。

**問**

小美玉市の避難所において子を持つ親が少しでも不安を解消出来るよう、避難所用段ボール製ベビーコット※を導入していただきたいと提案する。

構築に向けて進めていく。また、移動式期日前投票所をさらに増設し、利便性の向上を図り、支援策の一つとして、投票所までの送迎車等の導入も視野に入れていく。

**答**

教育長 幼児が楽しく学べるような英語教育の環境づくりを園に要望していく。令和7年度から9年度までの契約において、ALT※2名を追加し、全部で15名のALT

を全ての学校及び公立幼稚園に派遣する。教員とALTが連携して授業や活動を行い、より高い表現力やコミュニケーション能力の育成を目指す。英語検定の受験料無償化のご提案も県内市町村の状況を把握し、検討していく。

**問**

子どもの未来に向けて英語教育のさらなる強化を提案するが市の見解は。

子どもは未来に向けて英語教育のさらなる強化を提案するが市の見解は。

子どもは未来に向けて英語教育のさらなる強化を提案するが市の見解は。

おみたまつ子 応援。ハッケージ

- ☑ ベビーコット…折りたたみ式か組み立て式の乳幼児専用の小さいベット
- ☑ ALT…外国語指導助手

◎その他の質問

- ・小美玉市DX推進について
- ・スクールバスについて



デジタル教科書についての見解を伺う

すずき しゅんいち  
鈴木 俊一



録画映像

答弁 児童生徒が選択できることが重要である

戸惑う子どもたちの姿が見

**答**

教育長 学力の低下は見られなかった。一方、コミュニケーション力の低下が挙げられ、友達との関係づくりに

な変化があったか。

**問**

コロナ禍前後で子どもたちにどのような変化があったか。

児童生徒は

は、英語や算数、数学でデジタル教科書と紙の教科書を併用して授業を行っている。児童生徒が必要に応じて、動画やスライドを見て理解を深めたりするなどの活用を図っている。学習場面に応じてデジタル教科書と紙の教科書とを使い分けられるよう児童生徒が選択できるようにしている。

紙の教科書への再考について伺う。

デジタル教材先進国スウェーデンでは、国際学習到達度調査において、順位を下げているため、元の紙の教科書に戻るように復旧を図っている。紙の教科書への再考について伺う。

という趣旨で行われている。

**答**

総務部長 大村市はデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、全国自治体の先駆けとなる事業を展開している。

ランニングコストは約5千万円かかっている状況もあり、今後の動向に注視すべきである。本市では社会福祉協議会の事業で、在宅福祉サービスセンター事業がある。サービスを利用する人も提供する人も、同じ地域に住む住民同士で、お互いに助け合っているという趣旨で行われている。

**問**

人口が増加し続けている大村市でのしあわせ循環コミュニティ事業についての見解は。

人口が増加し続けている大村市でのしあわせ循環コミュニティ事業についての見解は。

人口が増加し続けている大村市でのしあわせ循環コミュニティ事業についての見解は。

人口が増加し続けている大村市でのしあわせ循環コミュニティ事業についての見解は。

人口が増加し続けている大村市でのしあわせ循環コミュニティ事業についての見解は。



### 特別支援学級の指導状況について問う

はるお 山崎 晴生



録画映像

### 答弁 教職員の資質向上と関係機関との連携等を強化する

**問** 具体的にどのような連携を強化し、課題を改善していくのか。

**答** 教育長 特別支援教育推進リーダーを中心として、特別支援教育コーディネーターや石岡特別支援学校の巡回相談員との情報共有、研修、会議を定期的の実施し、教育委員会と学校間の連携・協働体制の構築及び教職員の資質向上を図る。また、事業連携協定の中で、民間の児童発達支援センターなどの専門職との情報交換、研修体制の構築も今後検討していく。

**要** 民間の事業所との積極的な連携と、特別支援教育に対する適切な予算措置を要望する。

**マイナ保険証について**

**問** 今後も保険診療が安心して受けられるようなマイナンバーカード取得有無に関係なく、資格確認書を入所施設に直接送る事は可能か。

今後、マイナンバーカード取得の有無に関係なく、資格確認書を入所施設に直接送る事は可能か。

**答** 保健衛生部長 被保険者の方々の施設の職員の方々の利便性向上を図られるよう、申請を簡易な方法にできるかを含め、関係機関と調整を図り、可能な限り実現できるように検討を重ねる。

**基幹相談支援センターの現状**

**問** 今年度から基幹相談支援センター※が小美玉市社会福祉協議会に委託し、設置されたが、現状を問う。

**答** 福祉部長 様々な障がいに関する住民の相談をワンストップで受け付ける障がい福祉分野において中核的役割を果たす窓口であり、地域全体で相談支援の担い手を確保し、各役割を整理しながら、有機的な連携を基盤とした相談支援体制を今後更に拡充していく。

**要** 広域連携による地域相談支援拠点整備の推進を要望する。

※ 基幹相談支援センター…障がいの種別を問わず相談に応じ、障がい者の生活全般の課題解決をする



### 住み続けられるまちづくりと公共施設計画は

ふくしま 福島 ヤヨヒ



録画映像

### 答弁 市と市民等での推進委員会で話し合っ進めていく

**問** 40年後を見据えた公共施設建設計画づくりは市民とともに作り上げる姿勢をもつべき。市民の声を活かし、今後解体とされている施設も機能を維持して更新を。

**答** 総務部長 計画は見直しを加え、令和8年度に更新予定。集約化施設も利用者と調整を図り進めていく。

**通学路等の雑草対策**

**問** 自転車通学も含め、十分な対策を。

**答** 都市建設部長 P TA活動等により各学校において把握をしていく。危険箇所情報を教育委員会と共有し、関係機関への連絡、連携の体制を取ることで、安全対策を確保していく。

**高齢者見守りを十分に**

**問** 一人暮らし高齢世代の見守り対策と緊急通報システムはどう利用されているのか。

**答** 福祉部長 緊急通報システムはボタン1つで消防本部に通報でき、速やかな救護活動を受けられることが出来るサービスで、現在、179世帯の方が利用している。見守り対策としては、この緊急通報システムに加え、食事をご自宅に届けることで、栄養バランスの保持と安否確認をする「配食サービス」や、乳製品を配布し、健康保持と安否確認をする「愛の定期便」がある。

**給食費無償化 小学・園児対策**

**問** 小学生の給食費無償化は来年度の実施に向けて調整されているが、幼稚園・保育園への対策はどうなっているか伺う。

**答** 教育部長 小学生については、来年度からの実施に向け取組んでいる。園児については、一定の基準により副食費が免除されるが、無償化は現行の制度や運営面など、課題が多くあるため実施は難しいと考えている。



## 民生委員のなり手不足について

やなか かずお  
谷仲 和雄



録画映像

### 答弁 なり手不足解消に向け広報啓発活動に努める

**問** 民生委員のなり手の裾野を広げる広報戦略も必要では。

**答** 福祉部長 民生委員児童委員の活動

内容の理解促進、並びに民生委員のなり手不足という問題に対して広報啓発活動に努める。



▶本庁舎ロビー令和6年12月

### 重層的支援体制の整備

**問** 重層的支援体制整備事業について、福祉と就労支援、行政と社会福祉協議会の役割分担をどう図るか。

**答** 福祉部長 就労支援は生活困窮者自立支援事業と連携する。本事業は茨城型地域ケアシステムがベースとなることから、役割分担については、多機関協働事業の一部である地域ケアシステム推進事業の会議体の運用と生活支

援は生活困窮者自立支援事業と連携する。本事業は茨城型地域ケアシステムがベースとなることから、役割分担については、多機関協働事業の一部である地域ケアシステム推進事業の会議体の運用と生活支

援体制整備事業を軸とした地域づくり事業全般を社会福祉協議会に担っていただく想定で詳細を詰める。

### 防犯対策について

**問** 防犯対策についての取組み状況を問う。

**答** 総務部長 街頭防犯カメラの設置を計画的に進めるとともに市内全域に約7600基の防犯灯を設置。住宅地における見通しの確保や死角を作らない対策を促すとともに、小美玉市防犯連絡協議会を中心に地域と連携・協力しながら防犯対策を進めていく。

### PFI※の取組方針

**問** 公民連携を活用し、資金調達手法の検討を進めるにあたりPFIの取組み方針を明確にさせる必要があるのでは。

**答** 総務部長 小規模PFIを検証しながら、独自に小美玉市公共施設等に関する民間提案制度実施要綱を設ける。

度実施要綱を設ける。

※PFI…公共事業を実施するために民間企業の資金や経営能力、技術力を活用する手法



## 奨学金返還支援事業の検討経過は

おにた たけや  
鬼田 岳哉



録画映像

### 答弁 早期事業化に向け詳細を検討中

**問** 奨学金返還支援事業の検討経過について伺う。

**答** 市長公室長 本市の「第三期総合戦略」への当事業記載を関係部局と協議する等、早期事業化に向けて詳細を検討中である。

市の未利用財産活用を

**問** 当市の未利用財産は有効に活用されているのか伺う。

**答** 財務部長 「第4次行財政改革集中プラン」に基づき、土地の売却・貸付を実施しているが、期待した成果はあがっていない。メリットが多い事業なので、先進自治体等を参考に指針を整備し、情報発信等を通じて有効活用を図っていく。

SNSで地域PR!

**問** 当市公式SNSを活用した、地域PR戦略に関して方針を伺う。

**答** 市長公室長 部署によって、効果をあげているアカウントもあり、シンいばりキメシ総選挙で

のスイーツ部門グランプリ獲得や、中国・韓国便の就航を市のPRチャンスと捉え、SNSを含め、情報発信の向上に努める。

### タブレット修繕費抑制に向け

**問** 児童生徒用のタブレット修繕費が拡大しているが対策は。

**答** 教育部長 令和5年度は約2180万円の修繕費実績。本年9月より年間の端末補償契約を締結し、修理費用を一定額に抑えることにした。今後の更新機器は、耐久性に重きをおいた規格での調達を検討中。また、国に対しても引き続き修繕費財政措置を要望していく。

### 敬老会事業を考える

**問** 今後、さらなる担い手の不足や、高齢化による予算圧迫が見込まれる。敬老会事業のあり方を考える機会が必要では。

**答** 福祉部長 行政区との意見交換の場を設け、実施内容等を検討してまいりたい。



定額タクシー導入提案後の検討状況は

いしい あきら  
石井 旭



録画映像

答弁 令和7年3月より実証運行する

**答** 市民生活部長 有効な手段は積極的に取り入れたいと考える。カラスおりの設置をはじめ

**提** カラス駆除に捕獲おり設置を提案するが見解を伺う。

**答** 産業経済部長 既に導入している自治体の事例を調査研究していく。

**問** 鳥獣被害を減らすため、モデル地区を選定し、捕獲に向けた取り組みを望むが、市の見解を伺う。

鳥獣被害対策

**答** 都市建設部長 『仮称おみタク』の料金は、タクシーメーターの料金に比べて1回当たり500円又は1千円を利用者が負担し、残りの差額は市が負担する。予算規模は先進事例を参考に約500万円を想定。防衛省補助金の活用については、現在北関東防衛局と協議を進めている。

**問** 定額タクシー『仮称おみタク』の料金設定と予算金額、さらに防衛省補助金の活用は出来るのか伺う。

◎その他の質問  
・不法投棄等の対策を伺う。

**答** 市民生活部長 市では2名の不法投棄監視員を配置し、継続的な監視をしている。また、県の残土条例の改正に伴い、市においても今後条例改正を行い、規制を厳しくしていく、県や関係機関と連携を強化し対応していく。

**問** 違法残土と盛土の対策と対応を伺う。

違法残土と盛土対策

▶カラスおり



め、本市に合った有効な対策について、有害鳥獣捕獲隊と検討していきたいと考えている。

本会議のライブ中継や録画映像が視聴できます

令和6年第4回定例会アクセス数 1,394件  
これまでの累計アクセス数 16,800件



本会議の映像配信、会議録検索はこちらから



**ライブ中継** LIVEが表示されている会議を選択し、ライブ中継をご覧ください。

**録画映像配信** インターネット中継を行った過去の本会議をご覧ください。

